

平成26年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 学習状況調査事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	4. 教育センター費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額			5年間計画額	
臨時	単独	計画	820	0	実施計画	第3章	「心豊かな人づくり、まちづくり」～教育の充実、スポーツ活動の推進～	4,100
						基本施策6	確かな学力が向上するまちにします	平成23年度 820
								平成24年度 820
						施策1	確かな学力を定着させます	平成25年度 820
							平成26年度 820	
							平成27年度 820	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		820
本年度当初査定額		

財源内訳							一般財源
本年度当初要求額							820
本年度当初査定額							

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・学習状況調査作成委員会を年間5回開催し、調査問題を作成します。 ・市内小中学校に通う小中学生に調査を行います。 ・調査結果を集計・分析し、報告書を作成、各小中学校に配付します。</p>	<p>(事業の目的) 市内小中学校に通う小中学生の国語、算数・数学、理科、英語(中学校のみ)の基礎的・応用的な学力の一部について現状を把握し、授業改善を図り、学力の向上をめざします。</p>	<p>(事業の効果) 調査結果及びその分析をセンター等報告会、報告書、校内研修会等を通じて学校にフィードバックすることにより、学習指導の改善に寄与できます。さらに、基礎学力向上のために、補習用プリントを作成し、各小中学校で補習や家庭学習の教材として活用しています。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 基礎学力の定着は図れてきている。各学校における基礎学力の向上のための取り組みも充実してきた。今後、学んだことを活用する力や表現力・思考力を高める方策を模索していく。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 一昨年度より基礎学力に加え、活用する力の調査を行っている。この調査をより充実した調査にするために、問題作成委員の構成を充実させ、よりよい問題づくりを行うようにしていく。</p>	<p>(見積についての特記事項) 次世代を担う青少年の育成の中で、基礎的な学力等の重要性について述べられている。市民の教育に関する意識調査の結果からも、児童・生徒の学力向上を求める声がある。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
08	260	260	0
11	560	560	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	820		820